

NO！リニア

No. 16

2009年12月1日

JR東海労働組合

リニア反対プロジェクト

カレンダー廃止・浴衣・枕カバー取り替え廃止・休憩室の清掃回数減

リニア資金調達の低コスト化はすでに始まっている

社員はリニア開業に向け黙ってもっと働け！

JR東海は、リニアを自己負担で建設し2025年に開業するとしています。それを支えるのは「強固な経営基盤」と「安全を支える力」であり、そのためには「低コスト化の徹底」「効率的な業務遂行」が不可欠であるとしています。これは、リニア建設の資金調達のために社員の賃金抑制を徹底して行うという別表現でしかありません。今年の春闘「ベアゼロ」、「年末手当2.9ヶ月」に端的に示されています。「規律と忠誠心」「命令と服従」が蔓延する職場がつくられ、物を言う社員は許さないということです。

私たちはこのような会社の姿勢を見逃すわけにはいきません。5.1兆円ものリニア建設費は、一企業としての投資額を遙かに超えるものです。社員に犠牲を強いる「リニア中央新幹線」構想を職場から反対していかなければなりません。

また、リニア開業後の要員は現行のままとしています。新幹線の台車交換作業が外注化されたように安全に関わる検査部門を外注化し、リニアに必要な要員が生み出されていくことは容易に想像できます。

リニア建設の資金調達に向けて、業務の外注化と社員の労働強化が徹底的に行われるということです。カレンダーの配布廃止、新幹線座席背もたれカバーの取り替え制限、乗務員・駅員の浴衣・枕カバー取り替え委託廃止、駅執務室と休憩室、車両所更衣室の清掃回数の削減などとしてすでに職場に現れています。今はまだ関連会社の経費節減に留まっていますが、会社は「業務量が減るという逆の局面の中で、仕事のやり方見つめ直し、良く考えて、安全に対する信頼性を確保しながら、より低いコストで業務を遂行する方法を追求する」と明言しています。

人間らしく働くために、そして安全確保のために、職場から「リニア構想反対」の声をあげていきましょう。